

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	備考
<p>1 総則</p> <p>1-5 調査地点の確認</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 受託者は、調査業務において、地下埋設物（電話線、送電線、ガス管、上下水道管、光ケーブルその他）が予想される場合は、担当職員に報告し、関係機関との協議の上現地立会を行い、位置、規模、構造等を確認するものとする。</p> <p>1-3-1 現場管理と安全の確保</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 受託者は、調査業務関係者だけでなく、付近住民、通行者、通行車両等の第三者の安全確保に努めなければならない。</p> <p>(1) 受託者は、「土木工事安全施工技術指針」（国土交通大臣官房技術審議官通達令和4年2月）を参考にして、常に調査の安全に留意し現場管理を行い、災害の防止に努めなければならない。</p> <p>(2)~(4) (省略)</p> <p>3~12. (省略)</p>	<p>1 総則</p> <p>1-5 調査地点の確認</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 受託者は、調査業務において、地下埋設物（電話線、送電線、ガス管、上下水道管、その他）が予想される場合は、担当職員に報告し、関係機関との協議の上現地立会を行い、位置、規模、構造等を確認するものとする。</p> <p>1-3-1 現場管理と安全の確保</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 受託者は、調査業務関係者だけでなく、付近住民、通行者、通行車両等の第三者の安全確保に努めなければならない。</p> <p>(1) 受託者は、「土木工事安全施工技術指針」（国土交通大臣官房技術審議官通達令和3年3月）を参考にして、常に調査の安全に留意し現場管理を行い、災害の防止に努めなければならない。</p> <p>(2)~(4) (省略)</p> <p>3~12. (省略)</p>	<p>文書追加</p> <p>諸基準類の改定に伴う修正</p>

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
<p>2 地質調査 2-3 弾性波探査 2-3-5 成果品</p> <p>提出する成果品は、次のとおりとする。なお、解析図については、下記縮尺図の他、与えられた図面についても作図するものとする。</p> <p>(1) 調査報告書 (解析業務を伴う場合は、工事に対する意見を付して納品するものとする。)</p> <p>(2) 測線配置図 S = 1/1,000</p> <p>(3) 岩盤等高線図 S = 1/1,000</p> <p>(4) 走時曲線図 S = 1/250~1/500</p> <p>(5) 解析断面図 S = 1/250~1/500</p> <p>(6) 測定記録一式</p>	<p>2 地質調査 2-3 弾性波探査 2-3-5 成果品</p> <p>提出する成果品は、次のとおりとする。なお、解析図については、下記縮尺図の他、与えられた図面についても作図するものとする。</p> <p>(1) 調査報告書 (解析業務を伴う場合は、工事に対する意見を付して印刷製本するものとする。)</p> <p>(2) 測線配置図 S = 1/1,000</p> <p>(3) 岩盤等高線図 S = 1/1,000</p> <p>(4) 走時曲線図 S = 1/250~1/500</p> <p>(5) 解析断面図 S = 1/250~1/500</p> <p>(6) 測定記録一式</p>	<p>文書修正</p>

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版				(旧) 令和2年10月版				備考
2-1-1 地質調査関係成果品一覧表				2-1-1 地質調査関係成果品一覧表				訂正
2-1				2-1				
調査種別	成果品	部数	摘要	調査種別	成果品	部数	摘要	
地表地質踏査	調査報告書		記載事項は仕様書による	地表地質踏査	調査報告書		記載事項は仕様書による	
	地質平面図				地質平面図			
	地質断面図				地質断面図			
	ルートマップ		地表面現象を詳細に記入		ルートマップ		地表面現象を詳細に記入	
	代表的資料				代表的資料			
弾性波探査	調査報告書			弾性波探査	調査報告書			
	測線配置図		S=1/1,000		測線配置図		S=1/1,000	
	岩盤等高線図		S=1/1,000 作成可能な場合		岩盤等高線図		S=1/1,000 作成可能な場合	
	走時曲線図				走時曲線図			
	解析断面図				解析断面図			
	記録写真				記録写真			
	記録紙				記録紙			
地震探査野帳		様式-1	地震探査野帳		様式-1			
電気探査	調査報告書			電気探査	調査報告書			
	測線配置図		S=1/1,000		測線配置図		S=1/1,000	
	測線毎のρ-a曲線解析図				測線毎のρ-a曲線解析図			
	地質断面図				地質断面図			
	記録紙				記録紙			
	垂直・探査測定表		様式-3		垂直・探査測定表		様式-3	
	記録写真				記録写真			
	比抵抗分布平面図				比抵抗分布平面図			
比抵抗断面図			比抵抗断面図					
見掛比抵抗値分布図			見掛比抵抗値分布図					
ボーリング調査	調査報告書			ボーリング調査	調査報告書			
	平面図		調査孔を明示する		平面図		調査孔を明示する	
	柱状図		地質・土質調査成果電子納品要領(国土交通省・平成28年10月)による		柱状図		地質・土質調査成果電子納品要領(国土交通省・平成28年10月)による	
	地質断面図				地質断面図			
	孔内水位観測記録表		様式-5		孔内水位観測記録表		様式-5	
	ボーリング記録写真				ボーリング記録写真			
	コア一箱		岩の場合(箱の規格は様式-7による)		コア一箱		岩の場合(箱の規格は様式-7による)	
標本箱(標本ビン)		土の場合	標本箱(標本ビン)		土の場合			
岩盤等高線図		作成可能な場合	岩盤等高線図		作成可能な場合			

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版				(旧) 令和2年10月版				備考	
2-2				3-2				訂正	
調査種別	成果品	部数	摘要	調査種別	成果品	部数	摘要		
揚水試験	調査報告書			揚水試験	調査報告書				
	井戸台帳		平面図に調査孔を明示する		井戸台帳				平面図に調査孔を明示する
	各測定曲線図				各測定曲線図				
	解析計算経過資料				解析計算経過資料				
地すべり 地表地質踏査	調査報告書			地すべり 地表地質踏査	調査報告書				
	地質平面図				地質平面図				
	推定地質断面図		縦断、横断共		推定地質断面図				縦断、横断共
	岩石標本				岩石標本				
	オーガビットによる記録				オーガビットによる記録				
地すべり 地形測量調査	平面図		S = 1/500 ~ 1/1,000	地すべり 地形測量調査	平面図		S = 1/500 ~ 1/1,000		
	断面図		S = 1/100 ~ 1/1,000		断面図				S = 1/100 ~ 1/1,000
標柱観測	調査報告書		測定結果表一式を含む	標柱観測	調査報告書		測定結果表一式を含む		
	観測記録簿				観測記録簿				
	ベクトル図		定点とともに平面図に明示する		ベクトル図				定点とともに平面図に明示する
傾斜計	調査報告書			傾斜計	調査報告書				
	傾斜計解析計算表				傾斜計解析計算表				
	地盤傾斜変動図		様式-8		地盤傾斜変動図				様式-8
	日別移動量測定結果表				日別移動量測定結果表				
	地盤傾斜測定量計算表		様式-9		地盤傾斜測定量計算表			様式-9	
	日平均傾斜変動量計算結果				日平均傾斜変動量計算結果				
	合成日平均傾斜変動量計算結果				合成日平均傾斜変動量計算結果				
	最大傾斜方向計算結果				最大傾斜方向計算結果				
測定記録野帳		様式-10	測定記録野帳			様式-10			
伸縮計	調査報告書			伸縮計	調査報告書				
	測定記録紙				測定記録紙				
	日別移動量測定結果表				日別移動量測定結果表				
	経日別積算移動量曲線図				経日別積算移動量曲線図				
	経日別歪量計算結果表				経日別歪量計算結果表				
	経日別歪量変化曲線図				経日別歪量変化曲線図				
	地盤伸縮変動図				地盤伸縮変動図				

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版				(旧) 令和2年10月版				備考
2-3				3-3				訂正
調査種別	成果品	部数	摘要	調査種別	成果品	部数	摘要	
地中内部歪計	調査報告書			地中内部歪計	調査報告書			
	設置位置図		平面図に位置記入、柱状図にゲージの位置を記入		設置位置図			平面図に位置記入、柱状図にゲージの位置を記入
	測定値整理表		様式-11		測定値整理表			様式-11
	経日別・深度別歪量計算表		様式-12		経日別・深度別歪量計算表			様式-12
	経日別・深度別歪量変化表		様式-13		経日別・深度別歪量変化表			様式-13
	経日別・深度別累計歪量曲線図				経日別・深度別累計歪量曲線図			
	歪計測定記録野帳		様式-14		歪計測定記録野帳			様式-14
	歪柱状図				歪柱状図			
	地下水追跡	調査報告書			平面図に採水地点・投入孔に番号を附して記入する	地下水追跡	調査報告書	
各採水点毎の時間濃度曲線				各採水点毎の時間濃度曲線				
検出表			様式-15	検出表				様式-15
地下水等速線図あるいは地下水流線図				地下水等速線図あるいは地下水流線図				
調査平面図			採水地点・投入位置を明示する	調査平面図				採水地点・投入位置を明示する
下水垂直検層	調査報告書		調査孔を平面図に記入	下水垂直検層	調査報告書		調査孔を平面図に記入	
	地下水検層野帳				地下水検層野帳			
	地下水検層表		様式-16		地下水検層表			様式-16
	抵抗時間変化曲線				抵抗時間変化曲線			
	測定記録図		ボーリング記録図も併記		測定記録図			ボーリング記録図も併記
X線回折法	記録チャート		測定条件記入のもの	X線回折法	記録チャート		測定条件記入のもの	
	粘土鉱物の種類と同定した理由説明書				粘土鉱物の種類と同定した理由説明書			
地下水位計	調査報告書		平面図に調査位置を記入	地下水位計	調査報告書		平面図に調査位置を記入	
	水位変動図		歪計・伸縮計・傾斜計等の変動図の表も関連させる		水位変動図			歪計・伸縮計・傾斜計等の変動図の表も関連させる
	測定値解析一覧表				測定値解析一覧表			
	降雨量観測表				降雨量観測表			

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考																																																																																																																																																																
<p>2-12 地質調査様式 (例)</p> <p>様式-1</p> <p style="text-align: center;">地震探査野帳</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>業務名</td><td colspan="3"></td></tr> <tr><td>年月日</td><td>令和 年 月 日</td><td>主任技術者名</td><td></td></tr> <tr><td>測定延長</td><td>(m)</td><td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">爆発地点配置略図</td><td></td></tr> <tr><td>使用機械</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>測線名</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>測点間隔</td><td>(m)</td><td></td></tr> <tr><td>爆発回数</td><td>(回)</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td colspan="2"></td><td></td></tr> <tr><td>特記事項</td><td colspan="3"></td></tr> </table> <p>様式-2</p> <p style="text-align: center;">電気探査式地質調査記録野帳</p> <p>令和 年 月 日</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>所属</td><td></td></tr> <tr><td>氏名</td><td></td></tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>業務名</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>使用機種</td><td colspan="2" style="text-align: center;">路線及び測点配置略図</td></tr> <tr><td>路線名</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>測線延長</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>測点名</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>測定深度</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>記事</td><td colspan="2"></td></tr> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="3">作業時間</th> <th colspan="2">労務</th> </tr> <tr> <th>実測時間</th> <th>その他の時間</th> <th>累計時間</th> <th>技術員</th> <th>普通作業員</th> </tr> <tr> <td>本日</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </table>	業務名				年月日	令和 年 月 日	主任技術者名		測定延長	(m)	爆発地点配置略図		使用機械			測線名			測点間隔	(m)		爆発回数	(回)		その他				特記事項				所属		氏名		業務名			使用機種	路線及び測点配置略図		路線名			測線延長			測点名			測定深度			記事			種別	作業時間			労務		実測時間	その他の時間	累計時間	技術員	普通作業員	本日	時間	時間	時間	人	人	時間	時間	時間	時間	人	人	<p>2-12 地質調査様式 (例)</p> <p>様式-1</p> <p style="text-align: center;">地震探査野帳</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>業務名</td><td colspan="3"></td></tr> <tr><td>年月日</td><td>令和 年 月 日</td><td>主任技術者名</td><td></td></tr> <tr><td>測定延長</td><td>(m)</td><td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">爆発地点配置略図</td><td></td></tr> <tr><td>使用機械</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>測線名</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>測点間隔</td><td>(m)</td><td></td></tr> <tr><td>爆発回数</td><td>(回)</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td colspan="2"></td><td></td></tr> <tr><td>特記事項</td><td colspan="3"></td></tr> </table> <p>様式-2</p> <p style="text-align: center;">電気探査式地質調査記録野帳</p> <p>令和 年 月 日</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>所属</td><td></td></tr> <tr><td>氏名</td><td style="text-align: right;">㊟削除</td></tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>業務名</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>使用機種</td><td colspan="2" style="text-align: center;">路線及び測点配置略図</td></tr> <tr><td>路線名</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>測線延長</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>測点名</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>測定深度</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>記事</td><td colspan="2"></td></tr> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="3">作業時間</th> <th colspan="2">労務</th> </tr> <tr> <th>実測時間</th> <th>その他の時間</th> <th>累計時間</th> <th>技術員</th> <th>普通作業員</th> </tr> <tr> <td>本日</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </table>	業務名				年月日	令和 年 月 日	主任技術者名		測定延長	(m)	爆発地点配置略図		使用機械			測線名			測点間隔	(m)		爆発回数	(回)		その他				特記事項				所属		氏名	㊟削除	業務名			使用機種	路線及び測点配置略図		路線名			測線延長			測点名			測定深度			記事			種別	作業時間			労務		実測時間	その他の時間	累計時間	技術員	普通作業員	本日	時間	時間	時間	人	人	時間	時間	時間	時間	人	人	<p>㊟削除</p>
業務名																																																																																																																																																																		
年月日	令和 年 月 日	主任技術者名																																																																																																																																																																
測定延長	(m)	爆発地点配置略図																																																																																																																																																																
使用機械																																																																																																																																																																		
測線名																																																																																																																																																																		
測点間隔	(m)																																																																																																																																																																	
爆発回数	(回)																																																																																																																																																																	
その他																																																																																																																																																																		
特記事項																																																																																																																																																																		
所属																																																																																																																																																																		
氏名																																																																																																																																																																		
業務名																																																																																																																																																																		
使用機種	路線及び測点配置略図																																																																																																																																																																	
路線名																																																																																																																																																																		
測線延長																																																																																																																																																																		
測点名																																																																																																																																																																		
測定深度																																																																																																																																																																		
記事																																																																																																																																																																		
種別	作業時間			労務																																																																																																																																																														
	実測時間	その他の時間	累計時間	技術員	普通作業員																																																																																																																																																													
本日	時間	時間	時間	人	人																																																																																																																																																													
時間	時間	時間	時間	人	人																																																																																																																																																													
業務名																																																																																																																																																																		
年月日	令和 年 月 日	主任技術者名																																																																																																																																																																
測定延長	(m)	爆発地点配置略図																																																																																																																																																																
使用機械																																																																																																																																																																		
測線名																																																																																																																																																																		
測点間隔	(m)																																																																																																																																																																	
爆発回数	(回)																																																																																																																																																																	
その他																																																																																																																																																																		
特記事項																																																																																																																																																																		
所属																																																																																																																																																																		
氏名	㊟削除																																																																																																																																																																	
業務名																																																																																																																																																																		
使用機種	路線及び測点配置略図																																																																																																																																																																	
路線名																																																																																																																																																																		
測線延長																																																																																																																																																																		
測点名																																																																																																																																																																		
測定深度																																																																																																																																																																		
記事																																																																																																																																																																		
種別	作業時間			労務																																																																																																																																																														
	実測時間	その他の時間	累計時間	技術員	普通作業員																																																																																																																																																													
本日	時間	時間	時間	人	人																																																																																																																																																													
時間	時間	時間	時間	人	人																																																																																																																																																													

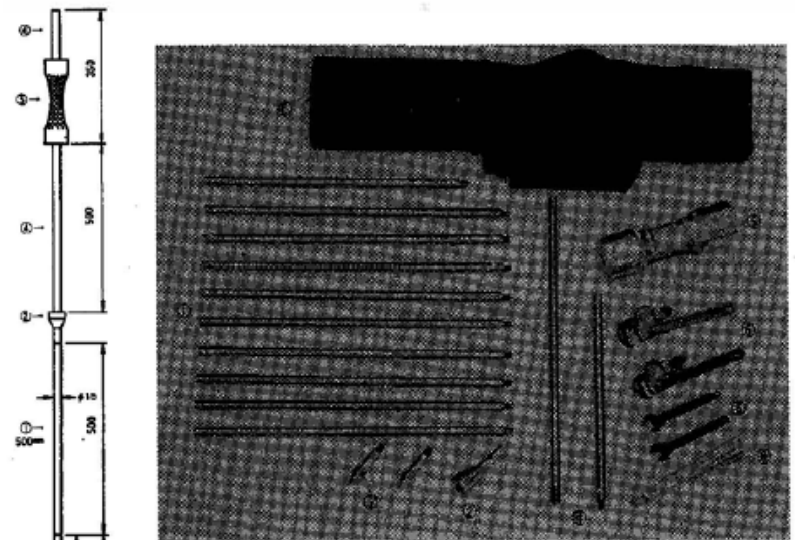
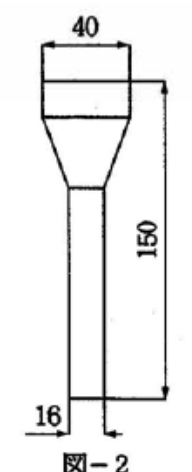
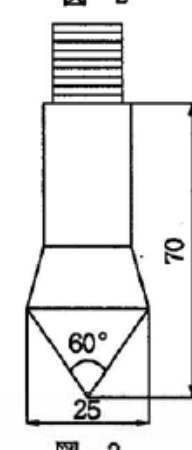
札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

<p>(新) 令和3年10月版</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">2-12 地質調査様式 (例)</p> <p>様式-6</p> <p style="text-align: center;">透水量試験表</p> <p>調査名 _____ 令和 年 月 日 天候 No. _____</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width:5%;">ボーリングNo.</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">試験区間深度(m)</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">パッカー規格</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">流量計規格</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">作業開始時刻</td> <td colspan="2" style="width:20%;">主任技術者氏名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="width:5%;">作業終了時刻</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="width:5%;">孔径(m)</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">試験区間長さ(m)</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">ポンプ規格</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">作業人員</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">試験時間</td> <td colspan="2" style="width:20%;">立会者所属氏名</td> </tr> <tr> <td>ボーリング工 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>普通作業員 人</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">試験水圧(kg/cm²)</th> <th colspan="10">経過時間(min)</th> <th colspan="2">透水量</th> <th rowspan="2">試験前後の孔内水位(m)</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>ゲージ水圧</th> <th>規定水圧</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th> <th>ℓ/min</th> <th>CC/sh</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td> <td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td> <td></td><td></td> <td>前</td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td> <td>後</td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 0.8em;">(注) 1 ボーリングNo.の欄は、ボーリングNo.と同一孔の透水量試験回数を記入する。 2 試験水圧項目のうちゲージとは、透水量試験区間上端(パッカーから下端深度)から下向きに地下水面までの水圧柱を規定水位から差し引いたものである。たとえば地下水位が試験区間上端まで5mあった場合で規定水位1 kg/cm²では、1 kg/cm²-0.5kg/cm²となる 3 経過時間の欄については、1分間(min)毎の透水量を記入する。 4 透水量の欄のℓ/minは10分間についての平均値である。 5 その他の欄には、湧水のある場合には水頭圧・湧水深度・湧水量等を測定し記入する。また、各水圧段階における試験中において急激に透水量の増大するような場合はその状況等を詳細に記入する。</p>	ボーリングNo.	試験区間深度(m)	パッカー規格	流量計規格	作業開始時刻	主任技術者氏名		作業終了時刻		孔径(m)	試験区間長さ(m)	ポンプ規格	作業人員	試験時間	立会者所属氏名		ボーリング工 人							普通作業員 人		試験水圧(kg/cm ²)		経過時間(min)										透水量		試験前後の孔内水位(m)	その他	ゲージ水圧	規定水圧	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	ℓ/min	CC/sh			(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			前																後		<p>(旧) 令和2年10月版</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">2-12 地質調査様式 (例)</p> <p>様式-6</p> <p style="text-align: center;">透水量試験表</p> <p>調査名 _____ 令和 年 月 日 天候 No. _____</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width:5%;">ボーリングNo.</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">試験区間深度(m)</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">パッカー規格</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">流量計規格</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">作業開始時刻</td> <td colspan="2" style="width:20%;">主任技術者氏名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="width:5%;">作業終了時刻</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="width:5%;">孔径(m)</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">試験区間長さ(m)</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">ポンプ規格</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">作業人員</td> <td rowspan="2" style="width:5%;">試験時間</td> <td colspan="2" style="width:20%;">立会者所属氏名</td> </tr> <tr> <td>ボーリング工 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>普通作業員 人</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">試験水圧(kg/cm²)</th> <th colspan="10">経過時間(min)</th> <th colspan="2">透水量</th> <th rowspan="2">試験前後の孔内水位(m)</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>ゲージ水圧</th> <th>規定水圧</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th> <th>ℓ/min</th> <th>CC/sh</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td> <td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td><td>(0)</td> <td></td><td></td> <td>前</td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td> <td>後</td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 0.8em;">(注) 1 ボーリングNo.の欄は、ボーリングNo.と同一孔の透水量試験回数を記入する。 2 試験水圧項目のうちゲージとは、透水量試験区間上端(パッカーから下端深度)から下向きに地下水面までの水圧柱を規定水位から差し引いたものである。たとえば地下水位が試験区間上端まで5mあった場合で規定水位1 kg/cm²では、1 kg/cm²-0.5kg/cm²となる 3 経過時間の欄については、1分間(min)毎の透水量を記入する。 4 透水量の欄のℓ/minは10分間についての平均値である。 5 その他の欄には、湧水のある場合には水頭圧・湧水深度・湧水量等を測定し記入する。また、各水圧段階における試験中において急激に透水量の増大するような場合はその状況等を詳細に記入する。</p>	ボーリングNo.	試験区間深度(m)	パッカー規格	流量計規格	作業開始時刻	主任技術者氏名		作業終了時刻		孔径(m)	試験区間長さ(m)	ポンプ規格	作業人員	試験時間	立会者所属氏名		ボーリング工 人							普通作業員 人		試験水圧(kg/cm ²)		経過時間(min)										透水量		試験前後の孔内水位(m)	その他	ゲージ水圧	規定水圧	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	ℓ/min	CC/sh			(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			前																後		<p>備考</p> <p style="font-size: 1.5em; font-weight: bold;">㊦ 削除</p>
ボーリングNo.						試験区間深度(m)	パッカー規格		流量計規格						作業開始時刻	主任技術者氏名																																																																																																																																																																
	作業終了時刻																																																																																																																																																																															
孔径(m)		試験区間長さ(m)	ポンプ規格	作業人員	試験時間	立会者所属氏名																																																																																																																																																																										
	ボーリング工 人																																																																																																																																																																															
					普通作業員 人																																																																																																																																																																											
試験水圧(kg/cm ²)		経過時間(min)										透水量		試験前後の孔内水位(m)	その他																																																																																																																																																																	
ゲージ水圧	規定水圧	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	ℓ/min	CC/sh																																																																																																																																																																			
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			前																																																																																																																																																																		
														後																																																																																																																																																																		
ボーリングNo.	試験区間深度(m)	パッカー規格	流量計規格	作業開始時刻	主任技術者氏名																																																																																																																																																																											
					作業終了時刻																																																																																																																																																																											
孔径(m)	試験区間長さ(m)	ポンプ規格	作業人員	試験時間		立会者所属氏名																																																																																																																																																																										
					ボーリング工 人																																																																																																																																																																											
					普通作業員 人																																																																																																																																																																											
試験水圧(kg/cm ²)		経過時間(min)										透水量		試験前後の孔内水位(m)	その他																																																																																																																																																																	
ゲージ水圧	規定水圧	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	ℓ/min	CC/sh																																																																																																																																																																			
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			前																																																																																																																																																																		
														後																																																																																																																																																																		

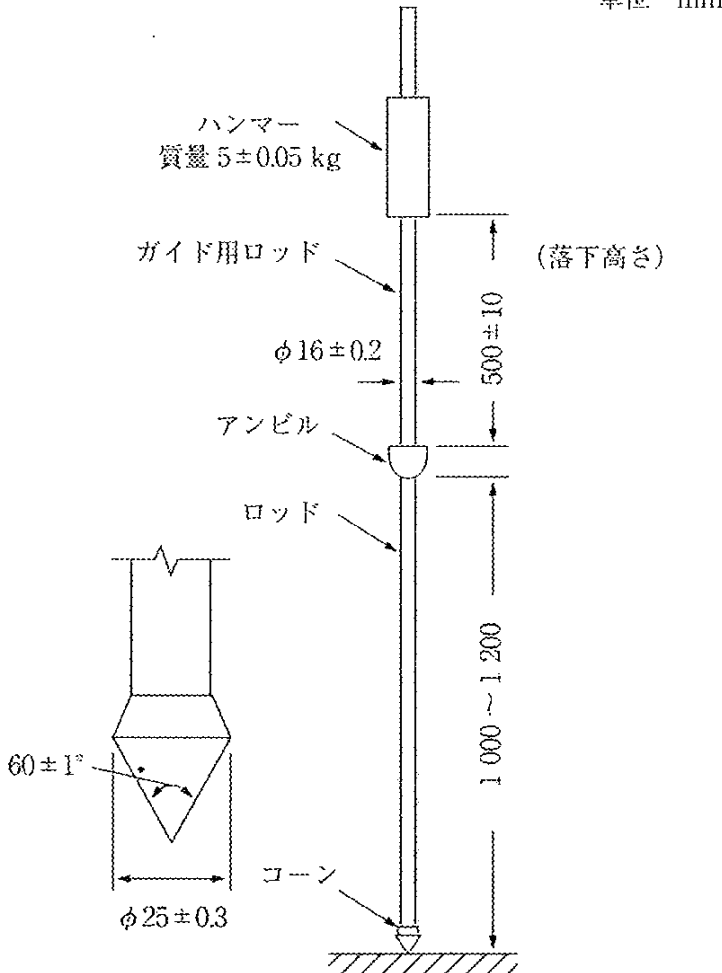
札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版		(旧) 令和2年10月版		備考																												
<p>3 土質調査</p> <p>3-1 通則</p> <p>3-1-2 調査の区分</p> <p>1. 原位置試験</p> <table border="1"> <tr> <td>土質調査</td> <td>オーガボーリング・ピートサンプリング</td> </tr> <tr> <td>強度調査</td> <td>標準貫入試験・簡易動的コーン貫入試験・ポータブルコーン貫入試験・機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験・原位置ベーンせん断試験・スウェーデン式サウンディング試験</td> </tr> <tr> <td>乱さない試料採取</td> <td>固定ピストン式シンウォールサンプラー（シンウォールサンプリング）・ロータリー式二重管サンプラー（デニソンサンプリング）・ロータリー式三重管サンプラー（トリプルサンプリング）</td> </tr> <tr> <td>その他の試験</td> <td>孔内水平載荷試験・現場密度測定（砂置換法）・現場透水試験</td> </tr> </table> <p>2. 土質試験</p> <table border="1"> <tr> <td>物理試験</td> <td>土粒子の密度試験・含水比試験・粒度試験・液性限界試験・塑性限界試験</td> </tr> <tr> <td>化学試験</td> <td>強熱減量試験</td> </tr> <tr> <td>力学試験</td> <td>土の突固め試験・圧密試験・一軸圧縮試験・一面せん断試験・三軸圧縮試験・締固め試験・現場透水試験</td> </tr> </table>		土質調査	オーガボーリング・ピートサンプリング	強度調査	標準貫入試験・簡易動的コーン貫入試験・ポータブルコーン貫入試験・機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験・原位置ベーンせん断試験・スウェーデン式サウンディング試験	乱さない試料採取	固定ピストン式シンウォールサンプラー（シンウォールサンプリング）・ロータリー式二重管サンプラー（デニソンサンプリング）・ロータリー式三重管サンプラー（トリプルサンプリング）	その他の試験	孔内水平載荷試験・現場密度測定（砂置換法）・現場透水試験	物理試験	土粒子の密度試験・含水比試験・粒度試験・液性限界試験・塑性限界試験	化学試験	強熱減量試験	力学試験	土の突固め試験・圧密試験・一軸圧縮試験・一面せん断試験・三軸圧縮試験・締固め試験・現場透水試験	<p>3 土質調査</p> <p>3-1 通則</p> <p>3-1-2 調査の区分</p> <p>1. 原位置試験</p> <table border="1"> <tr> <td>土質調査</td> <td>オーガボーリング・ピートサンプリング</td> </tr> <tr> <td>強度調査</td> <td>標準貫入試験・二重管式静的円スイ貫入試験・オランダ式円スイ貫入試験（2ton）・オランダ式円スイ貫入試験（10ton）・ベーン試験・スウェーデン式サウンディング試験</td> </tr> <tr> <td>乱さない試料採取</td> <td>シンウォールサンプリング</td> </tr> <tr> <td>その他の試験</td> <td>孔内水平載荷試験・砂置換法による単位体積質量の測定・現場透水試験</td> </tr> </table> <p>2. 土質試験</p> <table border="1"> <tr> <td>物理試験</td> <td>土粒子の比重試験・含水量試験・粒度試験・液性限界試験・塑性限界試験</td> </tr> <tr> <td>化学試験</td> <td>強熱減量試験</td> </tr> <tr> <td>力学試験</td> <td>圧密試験・一軸圧縮試験・一面せん断試験・三軸圧縮試験・締固め試験・透水試験</td> </tr> </table>		土質調査	オーガボーリング・ピートサンプリング	強度調査	標準貫入試験・ 二重管式静的円スイ貫入試験・オランダ式円スイ貫入試験（2ton） ・ オランダ式円スイ貫入試験（10ton） ・ ベーン試験 ・スウェーデン式サウンディング試験	乱さない試料採取	シンウォールサンプリング	その他の試験	孔内水平載荷試験・ 砂置換法による単位体積質量の測定 ・現場透水試験	物理試験	土粒子の 比重試験 ・含水 量 試験・粒度試験・液性限界試験・塑性限界試験	化学試験	強熱減量試験	力学試験	圧密試験・一軸圧縮試験・一面せん断試験・三軸圧縮試験・締固め試験・透水試験	<p>JIS・JGS と整合するための修正</p>
土質調査	オーガボーリング・ピートサンプリング																															
強度調査	標準貫入試験・簡易動的コーン貫入試験・ポータブルコーン貫入試験・機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験・原位置ベーンせん断試験・スウェーデン式サウンディング試験																															
乱さない試料採取	固定ピストン式シンウォールサンプラー（シンウォールサンプリング）・ロータリー式二重管サンプラー（デニソンサンプリング）・ロータリー式三重管サンプラー（トリプルサンプリング）																															
その他の試験	孔内水平載荷試験・現場密度測定（砂置換法）・現場透水試験																															
物理試験	土粒子の密度試験・含水比試験・粒度試験・液性限界試験・塑性限界試験																															
化学試験	強熱減量試験																															
力学試験	土の突固め試験・圧密試験・一軸圧縮試験・一面せん断試験・三軸圧縮試験・締固め試験・現場透水試験																															
土質調査	オーガボーリング・ピートサンプリング																															
強度調査	標準貫入試験・ 二重管式静的円スイ貫入試験・オランダ式円スイ貫入試験（2ton） ・ オランダ式円スイ貫入試験（10ton） ・ ベーン試験 ・スウェーデン式サウンディング試験																															
乱さない試料採取	シンウォールサンプリング																															
その他の試験	孔内水平載荷試験・ 砂置換法による単位体積質量の測定 ・現場透水試験																															
物理試験	土粒子の 比重試験 ・含水 量 試験・粒度試験・液性限界試験・塑性限界試験																															
化学試験	強熱減量試験																															
力学試験	圧密試験・一軸圧縮試験・一面せん断試験・三軸圧縮試験・締固め試験・透水試験																															

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
<p>3-3 サウンディング</p> <p>3-3-2 簡易動的コーン貫入試験</p> <p>1. 目的</p> <p>簡易動的コーン貫入試験は、斜面や平地における地盤表層部の動的な貫入抵抗を測定し、その硬軟若しくは支持力を判定することを目的とする。</p> <p>2. 試験等</p> <p>(1) 試験方法及び器具は、JGS1433 簡易動的コーン貫入試験 によるものとする。</p> <p>(2) 貫入方法は鋼製ハンマーを自由落下させる方法とする。</p> <p>(3) コーンに付着した土の観察、ロッドに付着した地下水位の状況、傾斜地作業では斜面の傾斜角度をできるかぎり記録するものとする。</p> <p>(4) 試験中、目的の深度に達する前に礫などにあたり試験が不可能になった場合は、担当職員と協議するものとする。</p> <p>3. 成果品</p> <p>(1) 調査位置案内図、調査位置平面図</p> <p>(2) 試験結果は、地盤工学会記録用紙、報告書用紙の JGS1433 (簡易動的コーン貫入試験方法) に準拠して整理し提出するものとする。</p>	<p>3-3 サウンディング</p> <p>3-3-2 簡易貫入試験</p> <p>1. 簡易貫入試験は、作業上制約の多い急傾斜地等で、表層土の強度、密度等の相対的な変化を連続的に測定し、表層崩壊を発生させる可能性の高い土層の強度とその密度を把握するために行うことを目的とする。</p> <p>2. 試験機は、(財)砂防・地すべり技術センターが定めた以下の規格に適合するものを使用するものとする。</p> <div style="text-align: center;">  <p>①ロッドφ16×430mm 1本 ロッドφ16×500mm 9本 ②ノッキングヘッド 1個 ③貫入先端コーン 2個 ④ガイドロッドφ16×500mm 1本 ガイドロッドφ16×350mm 1本 ⑤フエイト 1個</p> <p>⑥付属品 ・スナナ14mm 2丁 ・パイプレンチ200mm 2丁 ・折尺1m 1本 ・収納袋 1袋</p> </div> <p>図-1 構成図</p> <div style="text-align: right;">  <p>図-2</p>  <p>図-3</p> </div>	<p>JIS への仕様変更</p>

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
<p style="text-align: right;">単位 mm</p>  <p style="text-align: center;">図1-簡易動的コーン貫入試験機</p>	<p>① ロッド</p> <p>径16mmのものを10本、その内1本は長さ430mm、他のものは500mmである。各々に50mmピッチの目盛りがついている。</p> <p>② ノッキングヘッド</p> <p>径40mm、厚さ15mm、長さ150mmで、上側にガイドロッド、下側にロッドを取りつけられるようになっている。(図=2参照)</p> <p>③ コーン</p> <p>径25mm、先端角60°の円錐形コーン(図=3参照)</p> <p>④ ガイドロッド</p> <p>径16mm、長さ350mmと500mmの2本からなり(全長850mm)この下端にノッキングヘッドがとりつけられるようになっている。組立は下部に500mmのガイドロッドをとりつけ、ウエイトの一定の落下高を確保するようになっている。</p> <p>⑤ ウエイト</p> <p>5kgの質量で、中央部に径17mmの孔があいている。</p> <p>⑥ その他</p> <p>ロッド引き抜き用の小型パイプレンチ2丁、ロッド継ぎ足し及び取り外し用のスパナ2丁、折尺、収納袋。</p>	

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
	<p>3. 試験方法</p> <p>(1) ノッキングヘッドの上面に、500 mmのガイドロッド、その上に350 mmのガイドロッドを取りつける。</p> <p>(2) ノッキングヘッドの下方に、長さ500 mmのロッド、その下に430 mmのロッドを取りつけ、その先にコーンをつける。コーン先端よりノッキングヘッドの取り付け部までの長さは、1000 mmとなる。</p> <p>(3) ガイドロッドにウエイトをセットする。(図-1参照)</p> <p>(4) 装置全体が鉛直(図-4参照)になるように立て、その時の貫入深を測定。記録する。貫入深はノッキングヘッド下端取り付け部から、地上面までの間の長さを測定することによりロッド長からこの値を差し引いて求める。</p> <div data-bbox="1774 940 2092 1396" data-label="Diagram"> </div> <p>(5) 貫入深を測定する時は、貫入地点に径10 cm程度の平地を作り、固定点をセットして、この点からノッキングヘッド下端取り付け部までの距離を測る。</p> <p>(6) ノッキングヘッド上面より500 mmの所に、ウエイトの下面がくるようにウエイトを持ち上げた後、ガイドロッド沿いにウエイトを自由落下させる。</p> <p>(7) この操作を繰り返し、コーンが10 cm程度貫入するまでウエイトの落下を続け、その時のコーンの貫入深と打撃回数を記録する。</p>	

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
	<p>(8) これを繰り返し行い、ノッキングヘッドの地表からの高さが50 cm程度になれば新しくロッドを継ぎ足し、測定を継続する。〔1回の継ぎ足し長さは原則として1本(50 cm)とする。〕</p> <p>(9) ノッキングヘッドの高さは常に1 m程度以上としないようにする。</p> <p>(10) 10回のウエイトの落下によって、コーンが2 cm程度(Nc値50程度)しか貫入しなくなった場合、又は基岩に達し、貫入不能になった場合作業を打ちきる。</p> <p>(11) 試験中明らかに転石又は礫等のため、貫入不能になった場合、あるいは他の測点や付近の地盤の状況からみて、結果が不適と思われるような場合は、地点をずらせて再試験を行う。この場合ずらす距離は地盤の乱れを考慮10 cm以上とする。</p> <p>(12) 貫入時ロッドが曲がって入った場合、そのまま鉛直に直すようにせず、一度引き抜いてからやり直すこと。(図-5参照)</p> <div data-bbox="1840 1071 2136 1722"> <p>直すとロッドの断き目が折れる。 またはロッドが曲がる。</p> </div> <p style="text-align: center;">図-5</p>	

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
	<p>4. 試験結果の記録と整理</p> <p>(1) 様式-9に示すような試験機記録用紙を用意するものとする。</p> <p>(2) ウエイトの落下は、コーンが約10 cm程度貫入するまで続けて行い、これを1回の測定値として、この時の打撃回数と累計貫入量(h)を記録するものとする。</p> <p>(3) 各累計貫入量からそれぞれの単位貫入量(d cm)を求め、Ne換算表あるいは$N/d \times 10$の式から10 cm貫入当たりの打撃回数になおしてNe欄に記入するものとする。</p> <p>(4) 縦軸に貫入深度(h)、横軸にNeをとったグラフにhとその深さのNeの値をプロットし、貫入曲線を作成するものとする。</p> <p>(5) Ne値とは、径16 mmのロッドの先端を径25 mm、先端角60°のオーバーサイズの円錐形コーンにしたものを、5 kgのウエイトで50 cm落下させることにより地盤中に貫入させ、この時のコーンを10 cm貫入させるに要する打撃回数と定義する。(回/10 cm)</p> <p>5. 試験箇所の明示</p> <p>試験箇所は平面図に明示するものとする。</p>	

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
	<p>3-3-3 二重管式コーン貫入試験</p> <p>1. 目的</p> <p>二重管式コーン貫入試験は、軟弱地盤の原位置における土の静的貫入抵抗を測定し、土層の硬軟、締まり具合、又はその地盤構成を判定することを目的とする。</p> <p>2. 試験等</p> <p>(1) 試験用器具は、コーンの断面積 20 cm²程度、先端 30°、プル=ピングリング容量 100 kg の二重管式のポータブルコーンペネトロメーターを用いるものとする。</p> <p>(2) 本試験の実施中、試験機はたえず垂直に保持しなければならない。</p> <p>(3) 試験は、JIS A 1220 機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験方法に準拠して行うものとする。</p> <p>3. 成果品</p> <p>提出する成果品は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 調査位置案内図、調査位置平面図</p> <p>(2) 試験結果は、地盤工学会記録用紙及び報告用紙を使用して、JIS A 1220 機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験方法に準拠して整理し提出するものとする。</p>	

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
<p>3-3-3 機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験</p> <p>1. 目的 機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験は、軟弱地盤の原位置における土のコーン貫入抵抗を測定し、土層の硬軟、締まり具合、又はその地盤構成を判定することを目的とする。</p> <p>2. 試験等 (1)～(2) (省略) (3) 試験中、目的の深度まで達する前に、礫などにあたり試験が不可能になった場合は、担当職員と協議するものとする。</p> <p>3. (省略)</p> <p>3-3-4 ポータブルコーン貫入試験 (省略)</p>	<p>3-3-4 機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験</p> <p>1. 目的 機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験は、軟弱地盤の原位置における土の静的貫入抵抗を測定し、土層の硬軟、締まり具合、又はその地盤構成を判定することを目的とする。</p> <p>2. 試験等 (1)～(2) (省略) (3) 試験中、目的の深度まで達する前に、礫等にあたり試験が不可能になった場合は、担当職員と協議するものとする。</p> <p>3. (省略)</p> <p>3-3-5 ポータブルコーン貫入試験 (省略)</p>	<p>番号修正</p> <p>諸基準類との整合</p> <p>諸基準類改定に伴う変更</p> <p>番号修正</p>

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
<p>3-3-5 原位置ベーンせん断試験</p> <p>1. 目的</p> <p>ベーンせん断試験は、泥炭・粘土等の軟弱地盤の土層の原位置における地盤のせん断強さを求めることを目的とする。</p> <p>2. 試験等</p> <p>(1) 試験方法及び器具は、JGS1411 原位置ベーンせん断試験方法 によるものとする。</p> <p>(2) ベーンブレードは長方形の4枚羽を十字型に組み合わせたものとし、高さ H と幅 D の比が 2.0 の長方形を標準とする。ベーンブレードは、ベーンシャフトと平行に取り付けられ、かつ曲がりやゆがみのないものを用いる。</p> <p>(3) 回転ロッドにねじりを与えないようにして、ベーンを孔底から所定の試験深さまで押し込む。ベーンの押し込み速度は、20mm/s を超えない一定速度とし、可能な限り打撃や振動を与えることなくまっすぐ地中に押し込む。ボーリング掘削した孔底からベーンを押し込んで試験する場合には、ボーリング孔底の5倍以上の長さまで押し込んだ後、試験を行う。押し込み式の場合、地表面から所定の試験深さの0.5~0.8 m 上まで、ベーンを保護管と共に地中に押し込み、さらにベーンのみを所定の試験深さまで押し込む。このとき、ベーン保護ケースからベーンブレード幅の5倍の長さ以上ベーンを押し出してから試験を行う。</p> <p>(4) 土を乱さない状態で試験開始し、ベーン押し込み後、5分以内にベーンを回転し、一定速度で回転させる。回転角の読取り間隔は2°以下とし、最大値が得られるまで試験を続け最大トルク T_{max} を求める。</p> <p>(5) ベーンブレードは、試験中に損傷してはならない。試験後、外観に損傷が確認された場合は担当職員へ報告し、再試験の実施を検討する。</p> <p>(6) 長方形ベーンを用いた場合、乱さない状態での土のベーンせん断強さ S_{fv} を次式で算定する。</p>	<p>3-3-6 ベーン試験</p> <p>1. 目的</p> <p>ベーン試験は、泥炭・粘土等の軟弱地盤の土層の原位置におけるせん断強さを求めることを目的とする。</p> <p>2. 試験等</p> <p>(1) ベーン試験機はヒズミ制御型で、回転十字翼は幅 5.5 cm・高さ 11 cm のものを標準とする。</p> <p>(2) ベーン試験機は、二重管式によるものとし、土層によっては、ボーリングと併行して実施するものとする。この場合、完全に清掃した孔底から約 30 cm 下の深度において試験を実施しなければならない。ただし、ベーン試験の深度は十字翼の中央部の深度とする。</p> <p>(3) 回転ロッドの圧入中及び圧入後に回転等を与えて試験箇所のを乱してはならない。</p> <p>(4) 十字翼は、毎秒約1度の割合で回転し、最大荷重が明らかになるまで回転角と荷重の関係を記録するものとする。</p> <p>(5) ベーン試験によるせん断強さは次式によって求めるものとする。</p> $\gamma = \frac{M_{max}}{\pi \left(\frac{D^2 H}{2} + \frac{D^3}{6} \right)}$ <p>ここに、γ : せん断強さ (kg/cm²)</p> <p>M_{max} : 最大回転モーメント (kg/cm)</p> <p>D : 十字翼の幅 (cm)</p> <p>H : 十字翼の高さ (cm)</p>	<p>番号修正</p> <p>JIS への仕様変更</p>

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
$S_{fv} = \frac{T_{max}}{\pi \left[\frac{D^2 H}{2} + \frac{D^3}{6} \right]}$ <p>ここに、S_{fv} : 乱さない状態での土のベーンせん断強さ (kN/m²) T_{max} : 乱さない状態での測定最大トルク (kN・m) D : ベーンブレードの幅 (m) H : ベーンブレードの高さ (m)</p> <p>3. 成果品 提出する成果品は、次のとおりとする。 (1) 調査位置案内図、調査位置平面図 (2) 試験結果は、JGS1411 原位置ベーンせん断試験方法 により整理し提出するものとする。</p>	<p>3. 成果品 提出する成果品は、次のとおりとする。 (1) 調査位置案内図、調査位置平面図 (2) 深度とせん断強さの関係</p>	<p>諸基準類改定に伴う変更</p>

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
<p>3-3-6 スウェーデン式サウンディング試験</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 試験等</p> <p>(1)~(2) (省略)</p> <p>(3) 試験中、目的の深度まで達する前に、礫などにあたり試験が不可能になった場合は、担当職員と協議するものとする。</p> <p>(4) (省略)</p> <p>3. (省略)</p>	<p>3-3-7 スウェーデン式サウンディング試験</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 試験等</p> <p>(1)~(2) (省略)</p> <p>(3) 試験中、目的の深度まで達する前に、礫等にあたり試験が不可能になった場合は、担当職員と協議するものとする。</p> <p>(4) (省略)</p> <p>3. (省略)</p>	<p>番号修正</p> <p>諸基準類の改定に伴う修正</p>

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
<p>3-4 サンプルング</p> <p>3-4-1 乱さない試料採取</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 採取方法</p> <p>(1) 固定ピストン式シンウォールサンプラー (シンウォールサンプリング) は、軟弱な粘性土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1221 固定ピストン式シンウォールサンプラーによる土試料の採取方法によるものとする。</p> <p>(2) ロータリー式二重管サンプラー (デニソンサンプリング) は、中程度の硬質な粘性土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1222 ロータリー式二重管サンプラーによる土試料の採取方法によるものとする。</p> <p>(3) ロータリー式三重管サンプラー は、硬質の粘性土、砂質土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1223 ロータリー式三重管サンプラーによる土試料の採取方法によるものとする。</p> <p>3～4. (省略)</p> <p>3-5 その他の原位置試験</p> <p>3-5-4 現場透水試験</p> <p>1～2. (省略)</p> <p>3. 成果品</p> <p>提出する成果品は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 報告書 (試験箇所、深さ、試験方法、測定値)</p> <p>(2) 試験結果は、地盤工学会記録用紙、報告書用紙の JGS1614 により整理し提出するものとする。</p>	<p>3-4 サンプルング</p> <p>3-4-1 乱さない試料採取</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 採取方法</p> <p>(1) シンウォールサンプリング は、軟弱な粘性土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1221 固定ピストン式シンウォールサンプラーによる土試料の採取方法によるものとする。</p> <p>(2) デニソンサンプリング は、中程度の硬質な粘性土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1222 ロータリー式二重管サンプラーによる土試料の採取方法によるものとする。</p> <p>(3) トリプルサンプリング は、硬質の粘性土、砂質土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1223 ロータリー式三重管サンプラーによる土試料の採取方法によるものとする。</p> <p>3～4. (省略)</p> <p>3-5 その他の原位置試験</p> <p>3-5-4 現場透水試験</p> <p>1～2. (省略)</p> <p>3. 成果品</p> <p>提出する成果品は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 報告書 (試験箇所、深さ、試験方法、測定値)</p> <p>(2) 試験結果は、地盤工学会記録用紙、報告用紙 を使用して 整理し提出するものとする。</p>	<p>諸基準類との整合</p> <p>様式の変更</p>

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
<p>3-12 様式及び表示記号</p> <p>3-12-1 様式</p> <p>様式は、調査項目に応じて、様式-1～様式-8によるものとする。</p> <p>3-12-2 表示記号</p> <p>1. 岩種及び土質分類による表示記号は、2-13 ボーリング柱状図の作成・ボーリングコアの取扱い等 によるものとする。なお、試料図には必ず凡例を併記するものとする。</p> <p>2. (省略)</p>	<p>3-12 様式及び表示記号</p> <p>3-12-1 様式</p> <p>様式は、調査項目に応じて、様式-1～様式-9によるものとする。</p> <p>3-12-2 表示記号</p> <p>1. 岩種及び土質分類による表示記号は、2-13 ボーリング柱状図作成要領(案) によるものとする。なお、試料図には必ず凡例を併記するものとする。</p> <p>2. (省略)</p>	<p>文書修正</p> <p>文書修正</p>

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考																																																																						
<p>様式-1</p> <p style="text-align: center;">オーガボーリング による土質柱状図 ビートサンプリング</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width:20%;">調査名</td> <td style="width:30%;"></td> <td style="width:10%;">年月日</td> <td style="width:40%;"></td> </tr> <tr> <td>調査位置</td> <td></td> <td>標高</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>主任技術者</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">深度 (m)</th> <th rowspan="2">地下水位 (m)</th> <th colspan="3">現場判定による</th> <th rowspan="2">境界深さ (土層の m)</th> <th colspan="2">試料調査</th> <th rowspan="2">観察事項</th> </tr> <tr> <th>柱状図</th> <th>土質名</th> <th>色調</th> <th>資料番号</th> <th>深 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・崩壊・湧水などのあった位置とその状況 ・土層の亀裂・埋木・転石などの大きさとその位置 ・その他気のついた点を詳細に記入する </td> </tr> </tbody> </table>	調査名		年月日		調査位置		標高				主任技術者		深度 (m)	地下水位 (m)	現場判定による			境界深さ (土層の m)	試料調査		観察事項	柱状図	土質名	色調	資料番号	深 度									<ul style="list-style-type: none"> ・崩壊・湧水などのあった位置とその状況 ・土層の亀裂・埋木・転石などの大きさとその位置 ・その他気のついた点を詳細に記入する 	<p>様式-1</p> <p style="text-align: center;">オーガボーリング による土質柱状図 ビートサンプリング</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width:20%;">調査名</td> <td style="width:30%;"></td> <td style="width:10%;">年月日</td> <td style="width:40%;"></td> </tr> <tr> <td>調査位置</td> <td></td> <td>標高</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>主任技術者</td> <td style="text-align: right;"></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">深度 (m)</th> <th rowspan="2">地下水位 (m)</th> <th colspan="3">現場判定による</th> <th rowspan="2">境界深さ (土層の m)</th> <th colspan="2">試料調査</th> <th rowspan="2">観察事項</th> </tr> <tr> <th>柱状図</th> <th>土質名</th> <th>色調</th> <th>資料番号</th> <th>深 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・崩壊・湧水などのあった位置とその状況 ・土層の亀裂・埋木・転石などの大きさとその位置 ・その他気のついた点を詳細に記入する </td> </tr> </tbody> </table>	調査名		年月日		調査位置		標高				主任技術者		深度 (m)	地下水位 (m)	現場判定による			境界深さ (土層の m)	試料調査		観察事項	柱状図	土質名	色調	資料番号	深 度									<ul style="list-style-type: none"> ・崩壊・湧水などのあった位置とその状況 ・土層の亀裂・埋木・転石などの大きさとその位置 ・その他気のついた点を詳細に記入する 	<p>㊦ 削除</p>
調査名		年月日																																																																						
調査位置		標高																																																																						
		主任技術者																																																																						
深度 (m)	地下水位 (m)	現場判定による			境界深さ (土層の m)	試料調査		観察事項																																																																
		柱状図	土質名	色調		資料番号	深 度																																																																	
								<ul style="list-style-type: none"> ・崩壊・湧水などのあった位置とその状況 ・土層の亀裂・埋木・転石などの大きさとその位置 ・その他気のついた点を詳細に記入する 																																																																
調査名		年月日																																																																						
調査位置		標高																																																																						
		主任技術者																																																																						
深度 (m)	地下水位 (m)	現場判定による			境界深さ (土層の m)	試料調査		観察事項																																																																
		柱状図	土質名	色調		資料番号	深 度																																																																	
								<ul style="list-style-type: none"> ・崩壊・湧水などのあった位置とその状況 ・土層の亀裂・埋木・転石などの大きさとその位置 ・その他気のついた点を詳細に記入する 																																																																

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p style="color: red;">廃止</p>	<p style="text-align: center;">様式-9</p> <p style="text-align: center;">簡易貫入試験記録表</p> <div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;"> <small>地盤番号</small> _____ </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"><small>試験所</small></td> <td style="width: 20%;"><small>地点</small></td> <td style="width: 20%;"><small>地層名</small></td> <td style="width: 20%;"><small>試験年月日</small></td> <td style="width: 20%;"><small>単位</small></td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 45%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th><small>打撃回数</small> N (回)</th> <th><small>貫入深さ</small> h (m)</th> <th><small>貫入量</small> d=h_i-h_{i-1}</th> <th>$N_e = \frac{N}{d} \times 10$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 45%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th><small>打撃回数</small> N (回)</th> <th><small>貫入深さ</small> h (m)</th> <th><small>貫入量</small> d=h_i-h_{i-1}</th> <th>$N_e = \frac{N}{d} \times 10$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>N_e</th> <th>0.5</th><th>1.0</th><th>1.5</th><th>2.0</th><th>2.5</th><th>3.0</th><th>3.5</th><th>4.0</th><th>4.5</th><th>5.0</th><th>5.5</th><th>6.0</th><th>6.5</th><th>7.0</th><th>7.5</th><th>8.0</th><th>8.5</th><th>9.0</th><th>9.5</th><th>10.0</th><th>10.5</th><th>11.0</th><th>11.5</th><th>12.0</th><th>12.5</th><th>13.0</th><th>13.5</th><th>14.0</th><th>14.5</th><th>15.0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>20</td><td>16</td><td>13</td><td>10</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>2</td><td>40</td><td>32</td><td>26</td><td>20</td><td>16</td><td>14</td><td>12</td><td>10</td><td>8</td><td>8</td><td>6</td><td>6</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td> </tr> <tr> <td>3</td><td>60</td><td>48</td><td>40</td><td>32</td><td>25</td><td>23</td><td>19</td><td>16</td><td>13</td><td>13</td><td>9</td><td>9</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td> </tr> <tr> <td>4</td><td>80</td><td>64</td><td>53</td><td>42</td><td>34</td><td>30</td><td>24</td><td>20</td><td>16</td><td>16</td><td>11</td><td>11</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td> </tr> <tr> <td>5</td><td>100</td><td>80</td><td>66</td><td>52</td><td>42</td><td>37</td><td>30</td><td>25</td><td>20</td><td>20</td><td>13</td><td>13</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>6</td><td>120</td><td>96</td><td>79</td><td>62</td><td>50</td><td>45</td><td>36</td><td>30</td><td>24</td><td>24</td><td>15</td><td>15</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td> </tr> <tr> <td>8</td><td>160</td><td>128</td><td>106</td><td>85</td><td>68</td><td>60</td><td>48</td><td>40</td><td>32</td><td>32</td><td>19</td><td>19</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td> </tr> <tr> <td>10</td><td>200</td><td>160</td><td>133</td><td>107</td><td>86</td><td>75</td><td>60</td><td>50</td><td>40</td><td>40</td><td>24</td><td>24</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td> </tr> <tr> <td>15</td><td>300</td><td>240</td><td>200</td><td>160</td><td>130</td><td>115</td><td>93</td><td>78</td><td>62</td><td>62</td><td>37</td><td>37</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td> </tr> <tr> <td>20</td><td>400</td><td>320</td><td>267</td><td>214</td><td>172</td><td>151</td><td>122</td><td>102</td><td>81</td><td>81</td><td>48</td><td>48</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 8px; margin-top: 5px;"> <small>N_e - 簡易貫入試験値 : N回打撃した時の貫入量d[m]の時のN_eを求め、 <small>(例) 3回で0.3m貫入の場合のN_eは9である。</small> </small></p>	<small>試験所</small>	<small>地点</small>	<small>地層名</small>	<small>試験年月日</small>	<small>単位</small>	<small>打撃回数</small> N (回)	<small>貫入深さ</small> h (m)	<small>貫入量</small> d=h _i -h _{i-1}	$N_e = \frac{N}{d} \times 10$																																																																																									<small>打撃回数</small> N (回)	<small>貫入深さ</small> h (m)	<small>貫入量</small> d=h _i -h _{i-1}	$N_e = \frac{N}{d} \times 10$																																																																																													N _e	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0	1	20	16	13	10	8	7	6	5	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	40	32	26	20	16	14	12	10	8	8	6	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	60	48	40	32	25	23	19	16	13	13	9	9	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	80	64	53	42	34	30	24	20	16	16	11	11	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	5	100	80	66	52	42	37	30	25	20	20	13	13	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	6	120	96	79	62	50	45	36	30	24	24	15	15	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	8	160	128	106	85	68	60	48	40	32	32	19	19	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	10	200	160	133	107	86	75	60	50	40	40	24	24	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	15	300	240	200	160	130	115	93	78	62	62	37	37	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	20	400	320	267	214	172	151	122	102	81	81	48	48	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	<p>様式廃止し地盤工学会様式へ変更</p>
<small>試験所</small>	<small>地点</small>	<small>地層名</small>	<small>試験年月日</small>	<small>単位</small>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<small>打撃回数</small> N (回)	<small>貫入深さ</small> h (m)	<small>貫入量</small> d=h _i -h _{i-1}	$N_e = \frac{N}{d} \times 10$																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<small>打撃回数</small> N (回)	<small>貫入深さ</small> h (m)	<small>貫入量</small> d=h _i -h _{i-1}	$N_e = \frac{N}{d} \times 10$																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
N _e	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1	20	16	13	10	8	7	6	5	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2	40	32	26	20	16	14	12	10	8	8	6	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3	60	48	40	32	25	23	19	16	13	13	9	9	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
4	80	64	53	42	34	30	24	20	16	16	11	11	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
5	100	80	66	52	42	37	30	25	20	20	13	13	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
6	120	96	79	62	50	45	36	30	24	24	15	15	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
8	160	128	106	85	68	60	48	40	32	32	19	19	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
10	200	160	133	107	86	75	60	50	40	40	24	24	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
15	300	240	200	160	130	115	93	78	62	62	37	37	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
20	400	320	267	214	172	151	122	102	81	81	48	48	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

札幌市地質・土質調査業務共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和3年10月版	(旧) 令和2年10月版	備考
<p>4 地質・土質に関する解析・設計</p> <p>4-2 総合解析とりまとめ</p> <p>総合解析とりまとめの適用範囲は、次の各号に定めるところによる。なお、ダム・トンネル・地すべり調査を除くものとする。</p> <p>(1) 調査地周辺の地形・地質の検討</p> <p>(2) 調査結果に基づく土質定数の設定</p> <p>(3) 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定</p> <p>(4) 地盤の透水性の検討（現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合）</p> <p>(5) 調査結果に基づく基礎形式の検討（具体的な計算を行うものではなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討）</p> <p>(6) 設計・施工上の留意点の検討（特に、盛土や切土を行う場合の留意点の検討）</p> <p>成果品は、現地調査結果、ボーリング柱状図、地質又は土質断面図及び業務内容の検討結果を報告書としてとりまとめ提出するものとする。</p>	<p>4 地質・土質に関する解析・設計</p> <p>4-2 総合解析とりまとめ</p> <p>総合解析とりまとめの適用範囲は、次の各号に定めるところによる。なお、ダム・トンネル・地すべり調査を除くものとする。</p> <p>(1) 調査地周辺の地形・地質の検討</p> <p>(2) 調査結果に基づく土質定数の設定</p> <p>(3) 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定</p> <p>(4) 地盤の透水性の検討（現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合）</p> <p>(5) 調査結果に基づく基礎形式の検討（具体的な計算を行うものではなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討）</p> <p>(6) 設計・施工上の留意点の検討（特に、盛土や切土を行う場合の留意点の検討）</p>	<p>書基準類との整合</p>